

「ばれいしょ」からより収益性の高い「安納芋」等へ営農転換【鹿児島県西之表市】

にしのおもてし

体制・人材づくり 栽培作物・方法 加工・出荷 販売

【工夫のポイント】

- 農家のニーズに応じて段階的に基盤整備を実施（ほ場整備、ダム・畑地かんがい施設整備）。
- JAが主体となって営農指導等を実施し、より**収益性の高い園芸作物へ転換**を促進。
- **安定した集荷体制の確保と販売先ルートの確立**により、安定的な販売体系を構築。

基盤整備により安定的で効率的な営農を実現

区画整理やダム・畑地かんがい施設整備等の整備による用水の安定供給により、**営農作業の機械化**や**高収益な園芸作物の導入が可能**となった。

基盤



基盤整備

(S46年～H10年)

【整備前】

ほ場整備が不整形であり、**大型機械の導入が困難**であった。また、農道は狭小であり、**農業資材の搬入や農作物の搬出に苦慮**していた。
また、畑地かんがい施設が未整備であったため、**天候に左右される営農**であった。

【取組地域の概要】

- 位置 にしのおもてし
鹿児島県西之表市（離島等）



- 主要作物
青果用かんしょ、スナップエンドウ、ばれいしょ
- 主な支援施策
 - ・県営ほ場整備事業(S46～53)
 - ・県営畑地帯総合整備事業(S54～H10)

JA・園芸振興協議会を中心とした営農指導



- JAが主体となって、**営農指導等を実施**。ばれいしょ主体の営農から、収益性の高い青果用かんしょ（安納芋）やスナップエンドウ等の**園芸作物への転換が拡大**。

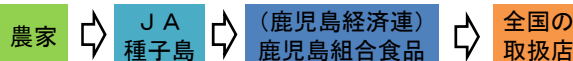
生産現場

- (営農指導の内容)
- ・栽培基準・防除基準の作成と栽培技術指導
 - ・土づくり指導（柔らかい土壌の確保）
 - ・園芸作物に適した有機質の投入量指導
 - ・一定基準を定めた肥料等の投入量指導 等

安定した販売体系の確保

- 安定した集荷体制を確保するため**JAが一時保冷庫を整備**。
- **販売先ルートを確立**させ、安定的な販売を実施。

加工・流通



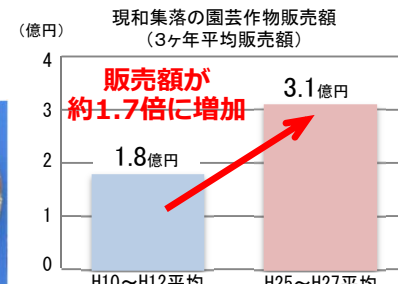
市場で人気の高い「安納芋」を中心に園芸作物の販売額が増加

- 現和集落では、安納芋など、収益性の高い**園芸作物の作付けが拡大**し、畑地かんがい施設への**通水開始(H10)後、園芸作物販売額が約1.7倍に拡大**。

現和集落における安納芋の販売額の変化

	H17年度	H27年度
販売額	970万円	1億7,200万円
園芸作物販売額全体に占める割合	5%	6.4%

10年前に比べて増大



【出典：西之表市園芸振興会資料】